※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　国語科

科目	古典探究	単位数	4
使用教科書	標準　古典探究（第一学習社）		
副教材等	古典探究　学習書（ＮＨＫ出版）		

	前期	後期
単位	2	2
レポート	６通	６通
必要出席回数	２回	２回
テスト	○	○

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●古典は単に古い文章を読むことだと思われるかもしれませんが、現代にも残り未だに読み継がれているこれらの作品は、私たちに時に生き方やものの見方、過去の文化や価値観から普遍的な人間の本質を知ることができるよいきっかけを与えてくれるかもしれません。古典の世界に触れ、今との違いを楽しみながら学習しましょう。

２　学習の到達目標

a　知識及び技能	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけ、日本の伝統的な言語文化に対する理解を深める。
b　思考力、判断力、表現力等	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につける。
c　学びに向かう力、人間性等	日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		古文 『沙石集』 『宇治拾遺物語』 『大鏡』 『竹取物語』 『御伽草紙』 『枕草子』 漢文 「朝三暮四」	a・古典に用いられている語句の意味や用を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やしている ・古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまりについて理解を深めている b・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確にとらえている c・教科書や学習書を用いて自力で期限内にレポートの問題へ取り組んでいる ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている	レポート・テスト	レポート・テスト	スクーリング・レポート・テスト
後期		古文 『源氏物語』 『伊勢物語』 「和歌･俳諧」 『玉勝間』 『徒然草』 『平家物語』 漢文 「諸子百家」	a・古典に用いられている語句の意味や用を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やしている ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている b・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている c・教科書や学習書を用いて自力で期限内にレポートの問題へ取り組んでいる ・関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている	レポート・テスト	レポート・テスト	スクーリング・レポート・テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度